安心・安全に全力
平成29年7月号
KOMEITO 公明党
さわやか 市川公明
声の届く政治 公明党です！
―発行者―
市川市議会公明党
―連絡先―
市川市役所 公明党控室
市川市南八幡2－20－2
Tel 047－334－1111

J:COM 北市川スポーツパークがオープン!!

平成29年7月30日（日）に開園を迎える北市川運動公園は、公募により、施設の愛称が「J:COM北市川スポーツパーク」に決まりました。

本公園は、スポーツ施設の少ない市内北東部地域を対象地として、市のスポーツ環境の諸課題の解決を図ることを目的に、国府台のスポーツセンターからテニスコートの機能を移設し、12面を設置しました。また、大柏川の遊歩道とつながるジョギング・ウォーキングコースや芝生の広場などを設け、スポーツに親しむとともに、地域交流の輪を広げる場としていきます。

1026席の観覧席を有するテニスコートは、市内テニス大会などの会場として活用されるほか、地域住民が主体となり運営される総合型地域スポーツクラブ「北市川スポーツクラブ」の活動拠点となります。

J:COM北市川スポーツパーク　施設概要

所在地　市川市柏井町4丁目277番1
面　積　約3.7ヘクタール
主な施設　テニスコート12面（内4面は夜間照明付き）、壁打ちコート2面、多目的広場3カ所（健康遊具9基あり）、クラブハウス（休憩ホール、コインシャワー有り）、駐車場126台（無料）、駐輪場200台（無料）など

クラブハウスから望むテニスコート

担当者からの説明を受ける視察風景

6月定例会　一般質問

市営住宅の建設資材に含まれるアスベスト対策について

Q 市営住宅の建設資材にアスベストが使われているが対策はどうなっているのか。また、アスベストの浮遊調査を全戸すべきではないか。

A 全1985戸のうち477戸でアスベストの使用が判明しており、203戸が未改修となっています。各棟1戸を年1回、アスベスト浮遊の調査を実施していますが、アスベストは検出されていません。入居者の不安解消のため、残り全203戸の調査を進めてまいります。

災害時のトイレ対策

Q 「マンホールトイレ」のメリットと設置に向けての取組みについて伺う。「マンホールトイレ」は下水道管渠に直結し、排泄物を直接流すため衛生的で、被災後直ちに使用でき、段差がなく、トイレ環境の確保に有効であります。しかし、避難所と下水道処理場を結ぶ下水道管渠の耐震化が課題のため、下水道管渠の耐震化を進めながら、設置可能な避難所から「マンホールトイレ」の整備に取組みます。

A 就学援助は、経済的理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し学用品費等を援助しています。実施には小学校入学前の保護者への通知方法や準要保護者に対する財源確保等の課題がありますが、実施について検討していきます。

ランドセル代入学前の前倒し支給を！

Q 国の要保護児童生徒援助費補助金制度の改正に対応して、市の就学援助制度における新入学児童生徒学用品費の支給額増及び入学前の前倒し支給の来春実施を求める

市民活動への支援について

Q 市民活動への支援の現状と今後の展望について伺う

A 市民活動団体に対して補助対象経費の2分の1を上限額の範囲内まで補助しています。現在の補助団体は87団体で、新規で12団体が補助を受けています。今後の展望としては、制度の充実に努めるとともに、制度を広く周知し、新規の補助団体を増やすことで、地域の活性化を図ってまいります。

公明党 法律相談
弁護士が無料の相談に応じます。
ご相談は一人30分まで。
予約が必要です。
お申込みは各議員の事務所まで。
8月19日（土）
9月16日（土）
10月21日（土）
各13時～17時
会場 市川市勤労福祉センター（本館）
（八幡2－20－1 ☎370－5201）

ご相談・ご要望はお気軽に公明党の議員までどうぞ！ TEL：047-334-1111 FAX：047-370-7475

まつば雅浩　堀越まさる　大場さとし　宮本ひとし　浅野さち　西村あつし　中村よしお　久保川たかし

6月定例会　代表質問

教育　私立高校授業料の実質無償化へ

東京都では、公明党の主張を受け、年収760万円未満の世帯を対象に私立高校の授業料を今年度から実質無償化しました。

千葉県でも、私立高校生対象の授業料減免制度を設けていますが、年収350万円を超える世帯から保護者負担が発生しています。

さらに市川市などの都県境の場合、都内の私立高校に通うと、どちらの制度にも該当しません。居住地によって負担の格差が生じており、教育機会の均等がとれない状況が発生しています。

こうしたことから、千葉県の制度拡充とともに都県境の問題解消を、市として千葉県市町村教育委員会連絡協議会などを通じて強く県に対して要望を上げていくよう訴えました。

道の駅　「道の駅」指定管理者が決定！

来年4月に開業予定の「道の駅」は、市川市をアピールする絶好の機会であり、地域の大きな経済効果も期待されています。

公募では4社から応募があり、指定管理者選定委員会で評価を行い、同選定審査会を経て、市川未来創造グループを管理者に指定しました。指定期間は10年です。

選定委員会委員は、基本計画からの有識者、企業経営者を判断する総理士、住民目線の地元自治会等で構成され、意見として「都市型の道の駅として差別化が期待できる」「情報提供の手法が具体化されている」などがありました。開館時間は8時から22時、夜間は有人警備とし、ベイFMによる情報発信等が提案されています。

「道の駅」の事業運営が継続的に発展していくよう要望しました。

1階平面図

公園　里見公園分園のテニスコート整備は？

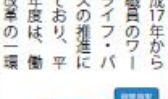
移転の代替施設が問題となった今回の整備計画。北市川運動公園の整備が整ったことから、国府台スポーツセンターの施設事改善や駐車場不足対応のためテニスコートを廃止し、里見公園分園に2面整備する計画を議会で承認後、3月中旬から近隣説明を行うも、様々な情報が先行し、多くの反対意見と要望書が寄せられ、結果的には市民が整備計画を当面保留としたという経緯をたどりました。

今回、議決前に地域へ事前説明が必要だったのではと改めて質問したところ、市では、説明会やパブコメ、モニタなどで意見を聞く場合もあるが、国との交渉が必要で事業の実効性を優先した、との回答でした。

今後は市民の意見を第一に、住民説明の時期の判断などを検証するように要望しました。

行革　ワーク・ライフ・バランスの実現へ

平成17年から本市職員のワーク・ライフ・バランスの推進に努めており、平成28年度は、働き方改革の一環として導入された「ゆう活」制度の試行、「ノー残業月間」を8月に加えて7月も対象月にす



6月定例会　一般質問

集団資源回収の奨励金について

Q 団体による集団資源回収の奨励金は3円／kgで14年間変わっていない。リサイクルの意識はあっても、回収に係る負担が大きいと感じれば今以上の広がり望めず、作業従事者の確保も困難になる。インセンティブの確保のため奨励金の値上げをすべきと考えるが市の見解を求める

A 回収品目や奨励金の単価は、ゴミの減量や資源化の状況、他市の傾向を踏まえながら見直しを行ってまいります。

人間ドック受診者に対する助成制度導入の考えについて

Q 松戸市では40歳以上の国民健康保険加入者に対して1人1500円の助成を実施しているが、市川市で導入する考えがあるか伺う

A 助成制度の導入は40歳から50歳に対する受診へのアプローチにもなるうえ、人間ドックの受診者は特定健診の受診数にもカウントされることから、40歳以上の国保加入者と後期高齢者医療保険加入者に対し、来年度より導入できるよう関係部署と協議してまいります。

「一般質問」は次ページへ続きます←